

平成29年度 ニチレイチャレンジ特別泳力検定会報告（鳥取会場）

期 日 2017年10月22日（日）

会 場 鳥取県営東山水泳場 屋内25mプール

参加人数 116人

ゲ ス ト リオデジャネイロオリンピック代表 江原 騎士 さん

リオデジャネイロオリンピック代表 青木 智美 さん

受 検 者 1級58人 2級22人 3級51人 4級7人 5級6人 6級3人 7級4人

合 格 者 1級55人 2級20人 3級48人 4級7人 5級5人 6級3人 7級4人

派遣委員 生涯スポーツ委員長 丸笹公一郎

報 告 者 （一財）鳥取県水泳連盟事務局長 森田 高明

鳥取県で初めてのニチレイチャレンジ特別泳力検定会を開催しました。（公財）日本水泳連盟のご支援をいただき、ゲストに待望のオリンピックの江原騎士さん、青木智美さんをお迎えしての開催となりました。

開催にあたり、開催案内を地元新聞社に記事にいただいたり当連盟のホームページでの広報や、県内各スイミングクラブなどの案内により、県西部地区だけでなく県内各地から参加していただきました。

会場の鳥取県営東山水泳場は、昭和60年に国体・平成7年にインターハイ・平成13年に全国中学が開催された屋外50mプール（9コース）、屋内25mプール（7コース）、幼児プール、飛び込みプールを有する総合水泳場です。環境としては県内随一の施設といえます。

ゲストのお二人には開会式での挨拶、認定証のプレゼンター、模範泳法、公開指導、記念撮影とたくさんのことをお願いしましたが快く引き受けていただきました。

認定証のプレゼンター役では、全員に笑顔で記録証、認定証、バッジを授けてくださり参加者はオリンピックからの授与に大感激でした。

さらに、模範泳法では、両氏の専門種目であるクロールを泳いでもらいオリンピックの迫力ある泳ぎに参加者はくぎづけになりゴールタッチ後は拍手と大歓声でした。

公開指導では、参加者全員が参加してクロールの基礎を指導していただきました。

模範泳法をしながら身体をしっかりと伸ばした蹴伸びの姿勢、蹴伸びから蹴伸びバタ足、そしてクロールへと繋げるなど、姿勢を意識することの大切さを説明されました。あらためてストリームラインの大切さを痛感した公開指導でした。

また、ゲストのお二人にサイン色紙をお願いしたところ、快く引き受けていただき参加者全員116枚のサイン色紙を書いていただきました。色紙には参加者一人一人の名前が書いてあり、このプレゼントには皆さんが感動して大喜びでした。

皆様のご協力で盛大に開催できましたことを大変喜んでおります。今後の開催についても参加者募集に力を入れ、一層盛大に開催出来ますよう努めてまいりたいと思います。

終わりに、本検定会の開催にあたりご支援頂きました（公財）日本水泳連盟、株式会社ニチレイ様、ゲストの江原騎士さん、青木智美さんに御礼申し上げますと共に、初開催にご尽力頂きました丸笹公一郎生涯スポーツ委員長に厚く感謝申し上げます。